



令和 3 年 6 月 29 日

地域性種苗を活用した緑化事業への協力を行いました

広島大学大学院統合生命科学研究科附属宮島自然植物実験所は、広島県廿日市市宮島にある一般廃棄物処理場の嵩上げ工事の際の緑化工について、協力を行いました。

宮島の貴重な自然を守るため、広島県の策定した保護管理計画に基づき、島内産のタネまきを令和 3 年 3 月 26 日に、地域性種苗を利用した植栽を 5 月 11 日にそれぞれ実施しました。

今回利用したタネは宮島島内で許可を得て採集されたものです。また苗は、宮島自然植物実験所の指導のもと、廿日市市立宮島小中学校（宮島学園）の児童・生徒と廿日市市宮島支所の方々が島内産のタネから育てたものです。

これは地域の生物多様性を守るとともに、防災・減災の観点から、平成 26 年から進めている事業です。



植栽に用いた地域性種苗（2021 年 5 月 11 日）



タネまきおよび地域性種苗植栽後の現地の様子（2021 年 5 月 11 日）

【お問い合わせ先】

統合生命科学研究科
附属宮島自然植物実験所 坪田 博美・内田 慎治
TEL:0829-44-2025 FAX:0829-40-2001